令和4年度第2回守山市自殺対策連絡協議会 議事録

日時：令和4年11月1日（火）
午後2時から午後3時30分まで
場所：守山市福祉保健センター
3階 講習室

【出席者】（名簿順）

委員：福田正悟、藤本直規、太田智真、湊上清二、田中良信、三上房枝、
雨森貴史、辻本長一、田中志歩

事務局：健康福祉部 沖田理事 すこやか生活課 森口課長、川中参事、
金沢係長、阿部主査、岩波主任、大朝主任保健師
生活支援相談課 青木係長、子育て応援室 尾谷係長、
学校教育課 木村指導主事

【欠席者】

委員：横江学

【議事内容】

1 開会

2 報告事項

第2次健康もりやま21に関する市民アンケート調査の実施結果について

事務局	資料1、資料2について説明
福田委員長	資料2 P.5 30～44歳が相談する相手がない人が多いが、その背景はどう考えているか。
事務局	勤め人であれば、新型コロナウイルス感染症の影響によりリモートワークが増えたことや集合研修ができないこと等により職場での人間関係が希薄であることが影響しているのではないかと考えている。
辻本委員	本来仕事をしていると色々なつながりができるが、現在の職場においては最低限のつながりになっていると感じる。 趣味による繋がりもあるが、それを楽しんでいる人も最近は少ないように思う。 結婚をしているか・していないかによっても、相談する相手の有無は変わってくるように思う。

<p> 渇上委員 </p>	<p> 30歳代というと、職場における中間管理職的な立場になってくる。信頼できる上司等がいないと、乗り越えるのが難しいと思う。 </p>
<p> 田中良信委員 </p>	<p> 資料2 P.3 50から60歳は、自分の健康に関する不安が出てくる年だが、家族の健康・介護等に関する悩みも重なる年ではないか。 </p>
<p> 三上委員 </p>	<p> 資料2 P.5 家族から職場の人はインフォーマルな相談相手、学校の先生から相談機関は公的な相談相手である。この分布を見ると、比較的自己解決できている人が多いのではないか。また、「その他」にはどのような人がいるのか。 7割の人が対面式で相談しているという背景から、自己解消能力が高いのではないかと考えるが、事務局としてはどう考えるか。 </p>
<p> 事務局 </p>	<p> 相談相手の「その他」については、詳しい分析ができていないため今後分析していきます。 相談方法については、前回調査において同設問がなく、比較等は出来ていないが今後検証していきたい。 </p>

3 協議事項

守山市自殺対策計画重点施策の最終評価（案）について

<p> 事務局 </p>	<p> 資料3-1・資料3-2について説明 </p>
<p> 藤本委員 </p>	<p> 職場でのコミュニケーションがとりづらくなっていることで、ストレスフルになっている。改まって相談というよりも、なにげないやり取りの中で色々なことを解決していくため、それができるような環境になれば良いと思う。 コロナ対策について、受診や治療等について考えることもストレスに繋がるため、感染対策のスムーズな実施も重要な一つだと思う。 会話において言語的コミュニケーションは3割でそれ以外が残り占めるため、対面での相談が出来ている人が多いのは良い事である。 高齢者については、相談メニューはそろっていると思う。困難事例の振り返りを行い、早めの介入ができるような施策を行うのが良い。 </p>
<p> 太田委員 </p>	<p> DVDの配布・貸出について、実際に現在どの程度配布されて、活 </p>

	<p>用されているのか知りたい。</p> <p>YouTube を活用しているのは良いことだと思うが、さらにそれを見てもらうことが必要である。対象によって受け取りやすい情報も異なるため、工夫が必要ではないか。</p> <p>現在物価高であるが、給与は上がっていない状況にあり、経済的に厳しい人に対する取組は継続する必要があると考える。</p>
事務局	<p>DVD の作成・配布について、通いの場や民生委員・児童委員の力をお借りして、令和 4 年 3 月時点で約 6,300 枚配布している。</p> <p>YouTube でも配信しており、約 3,000 回視聴していただいている。</p> <p>世代によって受け取りやすい情報は異なるため、様々な媒体を活用していきたい。</p>
browse 委員	<p>ゲートキーパー講座が市公式 YouTube に掲載されていることを初めて知って視聴した。分かりやすい内容であったが、相談窓口の連絡先があるとよりよいと感じた。</p> <p>民生委員の集合研修や定例会などで、DVD を新しい委員に配布してはどうか。</p> <p>20～30 歳代女性のアプローチについては、地域である子育てサロンを活用してはどうか。</p> <p>高齢者はいろいろな人に関わってもらうことが大切だと思う。</p>
事務局	<p>YouTube で配信しているということをもっと啓発する必要があると感じている。また、DVD にするという事は可能だと思うので実施していきたい。</p> <p>民生委員・児童委員への研修についても、またご協力を頂きたい。子育てサロンでの啓発についても、チラシを配布させていただく等させていただきたい。</p>
福田委員長	<p>自治体において、要介護 1 以上の方がどの程度閉じこもっているのか、把握して行ってほしい。</p>
田中良信委員	<p>月 1 回、26 事業所が集まる常議員会という会議があり、ここで啓発してはどうか。また商工会議所や各部会ごとに研修やセミナーを実施しており、そういった場も活用していただければどうか。</p> <p>経済産業省の取組で「健康経営を始めましょう！」というものがあり、当商工会議所も健康経営事業所としての認定を目指してい</p>

	<p>る。健康意識の向上にもつながるため、中小企業を中心に啓発している。</p>
田中志歩委員	<p>YouTube は空いている時間に視聴できるため、良い取組だと思う。今年度の湖南いのちサポート相談事業において、守山市の対象者の半数が 20 歳代女性となっているため、重点施策に挙げていることは良かった。当事業以外にも、同じような世代の相談を受けていると思うので、そういった部分も生きづらさをかかえた若者への支援等に挙げていってはどうか。</p> <p>高齢者の閉じこもりについて、コロナ緩解後に通いの場に出てよいのかという問合せがある。規模が小さければ参加できるのか、感染対策を実施しながらであれば参加できるのか等、細やかな対応があれば不安を軽減できるのではないか。</p>
福田委員長	<p>コロナで縮小していったものについては、通常に戻ってほしい。</p>
辻本委員	<p>いろんな取組をしていて、やれることはやっているのではないかと思う。</p> <p>資料 3-1 ゲートキーパーについて ゲートキーパーは誰もが日常的に支援者になりえないといけないと思う。職場や公民館や色々な場所で、そういう要素を持った研修を実施したほうがよい。</p> <p>子どもを評価する物差しが学力しかない、そこでしか評価されないことで落ち込み悩んでしまう生徒が増えてしまう。一人ひとりの個性を伸ばせるように関わっていかないといけないと感じている。</p> <p>15～19 歳の悩み事の相談先における「その他」はどこなのか。それが明らかになれば、それを広げることもできるのではないか。</p> <p>日本社会が変わってきたものの、女性がいろいろな形でしわ寄せを受けることが多い。社会で大きな問題があれば、影響を受けるのは大体女性になる。男性が家庭で協力関係を築いていくことが重要である。</p> <p>未遂者支援にあがるような 20 歳代の女性は、どういったことで悩んでいるのか、教えていただきたい。</p>
事務局	<p>湖南いのちサポート相談事業においては、きっかけとなった問題</p>

	<p>は経済的なことや、男女問題などさまざまである。共通する点としては、もともと自傷行為歴や精神疾患があり、家族との関係が希薄であるため、少しのことも誰かに話して解決したりすることが難しい人が多い。</p>
雨森委員	<p>10歳代の自殺は数としては他と比べても多いように思う。一方で悩みがあると回答した10歳代は少ない。このあたりのギャップを埋めるような取組が必要ではないかと思う。</p>
三上委員	<p>健康分野における取組はやれることは十分やっていると思うが、市政の方向性が分かりづらいように思う。</p> <p>周知等の間隔が密になると、関心や知識も高まっていくのではないかと思う。</p> <p>働く人への支援と言うのは難しいが、個人経営や中小企業にターゲットを当て、商工会議所等と連携して支援してはどうか。</p> <p>うつ病になった人の回復過程を支援するような体制はないか。</p>
福田委員長	<p>企業が辞職させることはできないが、病期で休む・復帰を繰り返す間に、本人が辞めたくなくなってしまう。だいたいそこまでに3～4年かかる。</p>
事務局	<p>働く人への支援について、うつ病で休職し経済的に困っている方へ傷病手当金の申請等について説明し会社とやり取りをしたこともある。</p> <p>生活支援相談課においては、病期休業中の方にも寄り添った相談支援をしている。</p>
藤本委員	<p>最近では、発達障害に気付かず大人になった人に対して、指導する上司がそれに気づかず普通の人と同じやり取りをするので、逆ハラスメントで上司が辞めてしまう問題が起こっている。</p> <p>また、若い女性への就労支援では、担当が男性だと細かい配慮がされづらく希死念慮を持ってしまうこともある。</p>
福田委員長	<p>時間も押してきましたので、これで3 協議事項は終了します。</p>

4 その他

事務局	<p>委員の皆さま、貴重なご意見賜りありがとうございました。</p> <p>ご意見を踏まえ、今後の施策の検討に役立てていきます。</p> <p>次回の開催時期は令和5年1～2月頃を予定しています。</p>
-----	--